



メールマガジン版 音楽の世界

第12号 日本音楽舞踊会議 (CMDJ) 2008年4月2日(水)発行
 The CONFERENCE of MUSIC and DANCE, JAPAN
 〒 169--0075 新宿区高田馬場 4-1-6 寿美ビル 305号 TEL&FAX 03-3369-7496
<http://www5c.biglobe.ne.jp/~onbukai/> E-mail: onbukai@mua.biglobe.ne.jp

メールマガジン版『音楽の世界』第12号 (Fresh Concert 特集号について)
 日本音楽舞踊会議 電子出版部長：中島洋一

昨年9月に発行しました第11号から、6ヶ月半振りに、メールマガジン版『音楽の世界』を発行いたします。

今回は“Fresh Concert”の第6回目の開催にちなんで、“Fresh Concert”特集号といたします。
 なお、掲載記事の一部は、印刷版『音楽の世界』2008年4/5月合併号と重複します。
 (メールマガジン版『音楽の世界』編集責任者 中島洋一)

メールの宛先：中島洋一 yoichi_n@wa2.so-net.ne.jp

+ + *+ +* *+ +* *+ +* *+ *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +*

♣ メールマガジン版 『音楽の世界』第10号の内容 ♣

- | | | |
|-------------------------------------|-------|------|
| 1) Fresh Concert について | 中島 洋一 | P. 2 |
| 2) Fresh Concert CMDJ 2008 挨拶とプログラム | | P. 4 |
| 3) Fresh Concert CMDJ 2008 の出演者に訊く | | P. 6 |
| 4) 過去の Fresh Concert 出演者が今の自分を語る | | P.18 |
| 1) 大矢絢子(ピアノ) | 第4回出演 | P.19 |
| 2) 久保智美(オンドマルティノ) | 第3回出演 | P.20 |
| 3) 田辺いづみ(声楽：メゾソプラノ) | 第3回出演 | P.21 |
| 5) 過去開催の Fresh Concert の出演者と演奏曲目 | | P.23 |
| 6) 4月～5月の日本音楽舞踊会議関係のコンサート情報 | | P.27 |
| 7) 編集後記 | | P.28 |

*
 + +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +*

Fresh Concert について

作曲 中島 洋一

本会主催の『Fresh Concert』は、2003年に第1回が開催され、早いもので今年で6回目を迎えます。6回続けるには、当事者側にもそれなりに努力が必要でしたが、回を重ねる事に次第に支援してくださる方も増え、そのような支援に支えられてここまで続けることが出来ました。この企画は来年以降も継続する予定ですので、皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。

ところで、「将来ある若い音楽家を集めてコンサートを開催しよう」という夢は、本会においても昔から少なくない数の会員が抱いており、1900年代末、中島克磨事務局長時代にもそういう構想が浮上したことがありましたが、種々の事情で実現しませんでした。2001年2月より助川敏弥氏（現代表理事）が、中島克磨氏の後を引き継ぎ事務局長に就任しましたが、助川事務局長時代の末期に、『音楽の世界』の編集会議において、現役の学生を集めて座談会を開く編集企画が浮上しました。企画の発案者は編集長の野口剛夫氏だったように記憶していますが、職業柄、学生と接触する機会の多い私が、学生側の出席者の人選と司会を担当することになりました。この座談会は、2001年12月1日に、としま産業会館の研修室で行われ、そこで収録されたものが、『音楽の世界』2002年1,2月号に連載掲載されています。

当時の社会状況は今にも増して厳しく、政府の打ち出す景気浮上政策もことごとく失敗し、森首相は退陣、その後は『改革』を声高らかに叫ぶ小泉純一郎氏が首相に就任しました。首相が吐いた言葉『聖域なき改革』、『米百俵』がその年（2001年）の流行語大賞に選ばれるほど流行りましたが、実は1999年～2001年の3年間、続けて時の総理大臣の言葉が流行語大賞に選ばれています。そこから、普段政治にあまり関心のない庶民まで、政治に大きな期待を寄せざるをえないほど、八方塞がりの状況だったことが読み取れます。

それでも、まだ社会の荒波に揉まれていない学生達は、座談会で素直に自分の夢を語ってくれました。しかし、学生達よりもいくらか人生経験のある私には、卒業した後、様々な困難に遭遇し、現実と折り合いをつけざるをえない中で、自分の夢をだんだん萎ませて行く、近未来の学生達の姿を想像せざるをえませんでした。そういう状況の中で、私は若い音楽家の卵達が、少しでも、自分の夢を実現して行くための手助けとなるような活動が出来ないか、と考え、その一環として、フレッシュコンサートの構想を描いていたのでした。

2002年の2月に、私は事務局長に就任しました。実は1991年3月～1996年2月の5年間、事務局長を勤めていたので、その期間を第一期とすると、第二期目ということになります。そして、就任後間もない時期に、フレッシュコンサートの構想を運営委員会の審議にかけ、殆どの運営委員の賛同を得て、企画は実行に移されました。

第1回目の『Fresh Concert』は2003年3月19日に、角筈区民センターホールで開催されました。この時の参加者は計10名、ピアノ伴奏者を入れると15名の若い音楽家達がステージに上りました。内訳は、声楽4、ピアノ3、チェロ1、クラリネットとピアノの二重奏1（2人）でした。第1回目ということで催物自体に実績がなく、参加

者を集めるのに少なからず苦労したのですが、蓋を開けてみると若さ溢れる熱演が続き、賛助会員の某氏から、「お陰様で音楽を十分に堪能できました。有り難うございました。」と、お褒めの言葉をいただくほどでした。

第1回の成功で気を良くした私たちはこの企画の継続を決意し、第2～4回を、めぐろパーシモンホールに会場を移して開催し、昨年度からは、すみだトリフォニーホールで開催することとなりました。

少々のデコボコはあるものの、演奏水準も年々向上して来ており、また6回続ける中で、外国の方が参加したり、第3回の久保智美さんのようにオンド・マルトノという珍しい楽器で参加したり、また昨年度は、ピアノ2台、打楽器奏者2名というように楽器がステージを埋め尽くす、大がかりな編成の作品も演奏されました。

今年度は、木管楽器（フルート二重奏）と、金管楽器（トランペット）での参加があります。過去において、フルート、ヴァイオリン、ピアノという編成での参加がありましたが、フルート二重奏、およびトランペットでの参加は初めですし、金管楽器での参加自体がこの企画としては初体験です。

このコンサート出演後、本会の会員や、研究員になってくれた人、本会のコンサートや研究会に出演してくれた人など、私たちの音楽仲間になってくれる人も多くいますが、例え、本会との繋がりが途絶えたとしても、このコンサート出演がその人の音楽人生にとって、一つの足場になってくれれば良いと考えています。

また、『Fresh Concert』の演奏は、第1回から録音され、CD制作が行われておりますが、2006年度からは、ビデオ録画され、DVD制作も加わるようになりました。そこには、ちゃんとした記録を残しておこうという意図だけではなく、参加者が自分の演奏を客観的に見つめ直すための参考材料にしてもらおうという意図もあります。それは、出来るだけこのコンサートの出演を将来のために役立てて欲しいという、我々の側のささやかな願いと配慮がもたらしたものです。

『Fresh Concert』のような、若い人のためのコンサートや、音楽コンクールなどは、続けてこそ存在意義が高まって行く企画と思います。長く続けてこそ、その成果を見届けることが出来るからです。また、他に似たような企画があるからといって、いたずらに奇を衒ったり、また始めたからには安易に開催を断念したりしてはいけない性質の企画と思います。確かに一見似たようなコンサートは世の中に数多くあるように見えますが、将来、音楽文化を担う可能性がある若い音楽家の数は多く、その一方でそのような若い人の立場に立ち、出演者にプラスをもたらすよう配慮された良質な企画は、それに比例するほど多くはないと思えるからです。

最後に音楽芸術は、人に聴いてもらい、人を感動させてこそ価値が生ずるものです。出演者はものおじせず、いま自分が持っているものすべてをお客さんにぶつけて欲しいと思います。少々未熟なところがあっても、会場に足を運んでくれた方々が、その心のこもった演奏を聴いて少しでも感動してくだされば、主催者側としてこれほど嬉しいことはありません。そして、演奏者の心を受け止めることが出来た時には、あたたかい拍手で演奏者を励ましてください。

（この文章は、昨年メルマガに掲載した文章をもとに、今年状況に合わせて修正したものです。）

なかじま・よういち（本会理事、相談役、コンサート実行委員長）

*+ *

“Fresh Concert”- GMDJ 2008 -

～より豊かな音楽の未来をめざして～

2008年4月5日(土) 18:30 開演

すみだトリフォニーホール 小ホール

主催：日本音楽舞踊会議 / 月刊『音楽の世界』

《ごあいさつ》

我が国の経済も、米国を源とするグローバル化の波をかぶり、経済格差が拡大し、若い人達にとってそれぞれの生活基盤を確保するだけでも困難な時代になって来ており、その中で音楽活動が続けて行くことは容易ならざる状況にあります。そういう中で、才能、可能性を秘めながらも、音大などを卒業した後、経済的な理由等でステージから遠ざかり、折角の才能を開花させることなく終わってしまう音楽家の卵達が増えてきているように見受けられますが、そのような時代だからこそ、若い人達に無理なくステージに立てる場を少しでも提供し、若い才能を発掘、育成することも、長い歴史を持つ音楽文化団体としての本会が果たすべき社会的、文化的使命の一つと考え、2003年度から毎年3月下旬～4月上旬に『Fresh concert』を企画してまいりましたが、今回はその第6回目にあたります。

本年度は、12人の若い音楽家達を世に送り出します。伴奏者を含めると17人の方々が、今回のステージに立ちます。出演者は大学院または大学を卒業した年代の人達が殆どですが、そのキャリアには多少の差があります。しかし、将来有望な人達が多く、参加者全員がこのコンサートを目標として研鑽に励んでまいりましたので、必ず、若々しい熱意がこもった好演奏をもって、聴衆の皆様方の期待に答えることができるものと思います。

若い音楽家達を元気づけるためにも、我が国の音楽状況を活性化させるためにも、いま、巣立って行こうとしているとうとしている若い音楽家達に対して、皆様方の惜しみない御支援とご声援をお願いするとともに、これからの彼らの活躍を暖かく見守り続けていただきたいと思います。

日本音楽舞踊会議	代表理事	助川 敏弥、深沢 亮子
	理事長	戸引 小夜子
	公演局長	北條 直彦
	コンサート実行委員長	中島 洋一

“ Fresh Concert ” - CMDJ 2008 - ~ より豊かな音楽の未来をめざして ~

坪野 智子 (ソプラノ)

フォーレ
G.Fauré

ピアノ伴奏：森田 真帆

「五月」作品1-2、「リディア」作品4-2、「愛の唄」作品27-1
"Mai" Op.1-2, "Lydia" Op.4-2, "Chanson d'Amour", Op.27-1

福田 将史 / 原田 佳菜子 (フルート二重奏)

モーツァルト
W.A.Mozart

ピアノ伴奏：高橋 亜侑実

ソナタ 二長調 KV.448 (2台のピアノのためのソナタからの編曲)
Sonata D-Dur KV.448

小林 由香 (ソプラノ)

ベルリオーズ
H.Berlioz
プーランク
F. Poulenc

ピアノ伴奏：森田 真帆

「夏の夜」作品7より 6. 知られざる島
[Les nuits d'ete] op.7 ~ "Lile inconnue"
「歌の調べ」より 3. 重々しい歌、4. 快活な歌
[Airs chantets] ~ Air grave, Air vif

上埜 マユミ (ピアノ)

リスト
F.Liszt

ハンガリア狂詩曲 第12番 嬰八短調
Hungarian Rhapsodies No.12 C# minor

増田 浩子 (ソプラノ)

フォーレ
G.Fauré
C.ドビュッシー
C. Debussy

ピアノ伴奏：森田 真帆

「5つのヴェネチアの歌」より “ひそやかに”
[5Mélodies de Venise] ~ "En sourdine"
「2つのロマンス」より 1. そぞろな悩める心、2. 鐘
[2 Romances] "L'âme évaporée et souffrante", "Les cloches"

----- 休憩 -----

元田 絢子 / 西野 杏梨 (ピアノ連弾)

グリーク
E.Grieg

「ペールギュント組曲」 第1集 作品46
[Peer Gynt-Suite1] Op.46

兼子 知恵 (ソプラノ)

アルディーティ
L.Ardit
ヴェルディ
G.Verdi

ピアノ伴奏：坂田 優子

“口づけ”
"Il bacio"
歌劇『リゴレット』より “麗しき御名”
[Rigoletto] ~ "Caro nome che il mio cor"

川田 修一 (トランペット)

ヒンデミット
P.Hindemith

ピアノ伴奏：藤田 朗子

トランペットとピアノの為のソナタ
Sonate für Torompete und Klavier

齋藤 希絵 (ソプラノ)

トマ
A.Thomas

ピアノ伴奏：森田真帆

歌劇『ハムレット』より “オフィリアの狂気のシェーナとアリア”
《Hamlet》 ~ "Scène et air et air de la folie d' Ophélie"

古川 詠子 (ソプラノ)

ピアノ伴奏：石川 美也子

- ミルヴェデン 愛の歌
I. Milveden K rlekens visa
- ニールセン リンゴの花びら (歌曲作品 10)
C. Nielsen Ebleblomst (Sange, op. 10)
- ランゲミュッラ ホアナの第一の歌 (「スペインの学生たち」より 作品 22-4)
P. E. Lange-M ller Juanas F rste S ng (Af Operaen "Spanske Studenter" Op22. No. 4)
- ホアナの第二の歌 (「スペインの学生たち」より 作品 22-5)
Joanas Anden S ng (Af Operaen "Spanske Studenter" Op22. No. 5)
- ステンハンマー 森で
W. Stenhammar I Skogen

司会：西山 淑子

2008年4月5日 (土) 18:30 開演 (18:00) 開場
すみだトリフォニーホール 小ホール
主催：日本音楽舞踊会議 / 月刊『音楽の世界』
入場料金：2500円 (全自由)

日本音楽舞踊会議 (The Conference of Music and Dance, Japan)
〒169-0075 新宿区高田馬場4-1-6 寿美ビル305号
Tel.&FAX：03-3369-7496
ホームページ：<http://www5c.biglobe.ne.jp/~onbukai>
電子メール：onbukai@mua.biglobe.ne.jp



*+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *

特集 1 Fresh Concert -CMDJ2008-の出演者に訊く！

Fresh Concert も今年で6回目を迎えることとなりました。第1回～第4回までは出演者を集め、座談会を開催し、その内容をコンサート特集記事として掲載してまいりましたが、出演者の都合で座談会に出席できない人も多かったので、前回からは幾つかの質問項目を用意し、その回答をこの雑誌に掲載することにしました。

本年度の Fresh Concert の出演者に、以下の質問項目について答えてもらいました。

1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ
2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品
3. 音楽以外で特に関心のあること (もの) は？
4. 今一番悩んでいることは？
5. もし、余命あと1年と宣告された時、あなた何を思い、何をしておこうとされるでしょうか？ (その時点で体は健康で何でも出来、経済的にもゆとりがあるということを前提としての質問です)
6. その他 (書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです)

1. ~ 4. までは、昨年同様の質問項目と同じです。5. は今年になって新たに加えた質問項目ですが、この質問項目については、戸惑ったり、ショックを受けたりした方がいたかもしれません。

5. の質問事項は、見方によっては唐突と思えるかもしれませんが、そのような質

問事項を設けた理由は、第一に音楽芸術も他の芸術ジャンルと同様、『死』を扱った作品が多いこと。そして、死を意識しながら創作活動をした人間が多く存在したということです。

例えばマーラーなどは、別れの歌(白鳥の歌)を未練がましく何回も書いています。本来第9交響曲となるべきだった『大地の歌』の終楽章の終わりの部分では、"ewig(永遠に)"という言葉は何回も繰り返しています。

それから、これは私の体験談ですが、中学生になった私の知人の少女が、私の家へ遊びに来た際、クリュータンスが指揮をしたフォーレの『レクイエム』の冒頭の部分から聴かせました。

その娘は音楽を少し聴き「深すぎて怖い」と呟きました。実はその娘は、死というものに正面から向きあうにはまだまだ精神的に未熟すぎる小学6年生の時、実母の死を目のあたりにしたため、同年齢の少女以上に「生と死、永遠と断絶」といった問題について、心が感じやすくなっていたのでしょう。フォーレの音楽というと、まずその美しさに心を惹かれる人が多いでしょうが、人の魂の奥底をゆさぶるような深さも併せ持っているのです。

次に、死を意識するという事は、自分の生を改めて見つめ直すことにつながると思うからです。そして、一生音楽を続けて行こうとするなら、「自分の生にとって音楽は何なのか」と、改めて、自分にとっての音楽を問い直すことにもつながると思います。

もちろん、まじめくさったり、深刻ぶったりせずに、あと、余命一年と宣告されたら、「一番自分がやっておきたいことを、じゃんじゃんやって楽しく過ごしてやるさ」というような答えもあってよいと思います。

深刻な問題を正面から受け止めようと、さらりと受け流そうと、当然のことながら、それぞれの人によって異なった受け止め方があってよいわけですし、そういうことが人間の個性であり、多様性でもあり、そして音楽の多様性につながっていると思います。

実は、「答えなくない質問事項に対しては、答えなくともよい」という前置きをした上で、質問したので、5.の質問に対して、どれだけの人が回答を寄せてくれるか些か心配でしたが、予想に反して全員が回答を寄せてくれました。その代わりでしょうか、自由に自分の書きたいことが書ける筈の「6.その他」については、全員が無回答でした。

あらためて出演者全員の回答を読んでみて、私は、多くの方々が真面目に答えてくれたな、という印象を受けました。そして、たとえ言葉の分量が少なくとも、そこから書いた人の個性、人となり、いくらかでも覗けるような気がしました。

それと、みんな一生懸命に音楽にとり組んでいるせいか、音楽のことだけでなく、それ以外のことについても、若者らしく好奇心、向上心が旺盛で、「もっと色々なことを体験したい、知りたい」という願望を強く持っているということを感じました。大人達は今の若者に対して、とかく「無気力、白けている」というような先入観を抱きがちですが、そういうものとは異なった若者の姿をみる事が出来たように思います。

それでは、出演者のみなさんの回答を、演奏順に紹介させていただきます。

なお、出演者の写真につきましてはプログラムのページに掲載してありますので、そちらを併せてご覧頂きたいと存じます。(中島 洋一)

それでは、出演者のみなさんの回答を、演奏順に紹介させていただきます。

なお、出演者のメッセージともに、略歴、写真を併せて掲載いたします。

(中島 洋一)

坪野 智子 (つばの・ともこ : ソプラノ)

上野学園大学、洗足学園大学大学院卒業。
勝俣季子、秋山理恵に師事。
第6回フランス音楽コンクールA級入選。



1. このコンサートの出演に向けてのメッセージ

このような演奏会に出演できることを光栄に思っておりますとともに、機会を与えてくださったすべての方に感謝しております。

この感謝の気持ちを込めて精一杯歌いたいと思うと同時に、この空間をお客様や出演者の皆様と大切に過ごしたいと思っております。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

作曲家に囚われず色々な作品にチャレンジしたいと思っておりますが、いつかビゼー作曲オペラ「カルメン」のミカエラを全幕できたらいいなと思います。

3. 音楽以外で特に関心のあること(もの)は?

カメラです。デジカメを買って以来いろいろなものを映してきましたが、なかなかいい写真が撮れないので・・・これだ!!という写真を撮ってみたいです。

4. 今、一番悩んでいること

花粉症に悩まされています。

5. もし、余命あと1年と宣告されたら?

両親と船で世界一周します。

福田 将史 / 原田 佳菜子 (フルート二重奏)

福田 将史 (ふくだ・まだし) フルード

1985年生まれ。北海道出身。父親の影響により12歳よりフルードを始める。北海道滝川高等学校を卒業後、国立音楽大学に入学。在学中に、学内の主要な演奏会、室内楽演奏会、卒業演奏会等に出演。2008年3月に国立音楽大学卒業及び弦管打楽器ソリストコースを修了。これまでに福田哲久、中山耕一、酒井秀明、大友太郎の各氏に師事。またP.マイゼン氏のマスタークラスを受講。各地にて、オーケストラ、室内楽等、多数の演奏活動を行う。現在、国立音楽大学大学院音楽研究科一年在学中。



原田 佳菜子 (はらだ・かなこ) フルード

国立音楽大学附属音楽高等学校を経て、国立音楽大学を首席で卒業。卒業時に武岡賞を授賞。卒業演奏会に出演。また、皇居内桃華楽堂にて御前演奏を行う。

大学在学中、明治安田クオリティオブライフ文化財団から奨学金を授与される。

第8回宮日音楽コンクール管楽器部門 最優秀賞。

2005年フルードコンベンション アンサンブル部門 銅賞。

第12回びわ湖国際フルードコンクール一般部門 入選。

P.マイゼン、C.ラルデなど各氏のマスタークラスを受講。これまでに大友太郎、中島真理子の両氏に師事。現在、国立音楽大学大学院音楽研究科1年在学中。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

コンサートに出演できることを本当に嬉しく思います。また、こういった機会を与えて下さった方々に深くお礼申し上げます。人前で演奏できることはなにより感謝をしなければいけないことと常に思います。そして演奏する側、聴き手側とのコミュニケーションがうまく取れるにはどのようにすれば良いか、等ひとつひとつの本番で勉強できることだと思うので、いろいろな方に感謝を込めた演奏が出来たらと思います。何が起こるかわからない本番というのは、楽しみでもあり、不安でもあります。しかしそれらを越える心地よさを追い求めなければいけないな、とも思います。今回はフルートDuoという形での出演で、曲も2台のピアノのために書かれた曲の編曲で難しい部分もありますが、フルート2本とピアノのアンサンブルで原曲とは違う楽しみを皆様にお届け出来たら、と思います。(福田)

今回、このフレッシュコンサートに出演させて頂き、大変嬉しく思います。私は日頃から色々なアンサンブルを通して、音楽の楽しさや魅力を体感してきました。本日は、私の大好きなフルートデュオとピアノのアンサンブルをお贈りします。美しく優雅で、時に力強くきらびやかなフルートとピアノのハーモニーを、有名なモーツァルトの楽曲で表現したいと思います。私は日頃から、人の心に響く演奏を目指しています。本日の演奏も、聴いてくださる人の心に、何か幸せなものをお届けできたらと思います。また、今回の出演において、お世話になった中島先生をはじめとする、全ての方への感謝の気持ちも込めて、精一杯演奏したいと思います。(原田)

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

挑戦してみたいものはバロックから現代作品までいろいろありますが、今特に挑戦したいと思うものはヴィヴァルディがあげられます。ヴィヴァルディのコンチェルトを弦楽の伴奏で挑戦してみたいと思います。なかなか演奏機会もなく、そして弦楽器の伴奏ともなると機会が訪れることはさらに少ないですね。ヴィヴァルディの作品は個人的にとっても好きで、いつかきちんとした形で演奏できたら良いな、と思います。(福田)

フルートデュオの作品だと主にドップラーの作品などが有名ですが、今後はバッハのフルートデュオやショッカーのジャズ要素が織り込まれている作品など、時代を越えて様々な曲を、おもしろく魅力的に演奏できたらと思います。どのような編成のアンサンブルでも、常にフルートという楽器が織り成す、美しい繊細なハーモニーを追求していきたいです。(原田)

3. 音楽以外で特に関心のあること(もの)は？

音楽以外では釣りに関心があります。第一に魚自体が好きなことありますが、釣りをしているときの時間の流れ方が私はとても好きです。釣れていればなお楽しいですが、魚が釣れなくても、水のある景色、緑のある景色を見ながら風に吹かれることがとても安らぎを与えてくれます。(福田)

人との関わりです。音楽とは関係なく、自分に元気や勇気を与えてくれるのは、いつ

も周りにいてくれる人のおかげだからです。離れて過ごす家族や友人など、自分の周りにいる大切な人と過ごす時間が、私にとって大きな活力となっています。人と関わることで癒されたり、刺激を受けたりするので、音楽から離れている時は、人とコミュニケーションを取り、自分のあらゆる感受性も高めていけるよう意識しています。(原田)

4. 一番悩んでいることは？

悩みというか願望かもしれませんが、自分が感じることをうまく言葉で表せないことです。言葉ってとても難しいですね。感じることを全てを言葉で表せたらどんなに良いだろうと思います。音楽だけに限らず、日頃の生活でも自分の意思や感情をうまく表現できたら、どれだけ自分にとって良いことでしょうか。語彙を増やす努力がもっと必要です。(福田)

時間の使い方！日々生活する中で最近強く思う事が、本当にいろんな事を学びたいということです。例えば語学。様々な国の人と出会った時、もっと英語や他の国の言葉が話せたら楽しいのに...と感じるからです。他にも音楽の事や、日本の事。知りたい事、やりたい事がたくさん！だからこそ、今を目一杯生きる為に、時間をもっと上手に使えたらなって思います。(原田)

5. もし、余命あと1年と宣告されたら？

一年の命とはとても短いと感じ、絶望を感じざるを得ないと思います。何をしょうか、自分の目で見ておきたいものを見にいくと思います。それらは特定のものに限らず、今までに経験したことのない真新しいことに触れたいです。そして、今までやってきた音楽に感謝をし、この状況だからこそ感じる何かはあると思うので、それを出来る限り多く表現したいと思います。限りある時間を大切に小さな幸せを感じたいです。(福田)

余命一年。とてつもない恐怖が襲ってくると思います。ですが、同時にやりたい事もたくさん出てきます。やはり、後悔しない人生を送る為に、私はフルートをたくさん吹きたいです。まだまだ出したい音、表現したいことが無限にあるからです。そして少しでも多く、人の前で演奏したいです。自分が生きている証として、命のある限り表現者で在り続けたいです。いつかは訪れる死。悔いの残らないよう、今という一瞬一瞬を精一杯生きたいです。(原田)

小林 由香 (こばやし・ゆか：ソプラノ)

1983年生まれ、東京都出身。

国立音楽大学付属高等学校ピアノ科入学後、声楽に転科。

国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。洗足学園音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻卒業。

声楽を秋山理恵、稲森雅子、滝川智子の各氏に師事。

第8回ヤングアーチストリサイタル出演。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

この度、このような演奏会に出演する機会を頂きますことを心より感謝いたします。これまでの声楽の勉強において、様々な課題や悩みにぶつかり、そのことで沢山の成長をすることが出来たと思います。

それも全て、いつも暖かく献身的に指導して下さった秋山先生を始め、支えてくれた家族や友人達のおかげです。改めて御礼申し上げます。

本日は感謝の気持ちを込め、聴いて下さる方々に楽しんで頂けるような演奏が出来ればと思います。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

マスネの「マノン」を勉強してみたいです。

3. 音楽以外で特に興味のあること(もの)は?

豊かな日本とは全く違う、世界の様々な場所で起きている紛争などの問題。

4. 一番悩んでいることは?

これから新たに始まる社会人としての生活で、どのように音楽を続けながら生活をし、成長していけばよいかを模索しています。

5. もし、余命あと1年と宣告されたら?

自分の余命が前もって分かっているということは、とても辛いことだと思いますが、不意に亡くなることと比べると良い面もあると思います。

その利点を活かすならば、今までお世話になった方々への恩返しや、人の為に役立つことをしたり、大事な人達と一緒にたくさんの時間を過ごし、前向きな気持ちで一瞬一瞬を胸に刻み日々を送りたいです。

上埜 マユミ(うへの・マユミ:ピアノ)

北星学園女子高等学校音楽科卒業。

国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修ピアノ専攻卒業。

ピアノコース修了。

戸引小夜子、濱尾夕美、エフゲニ・ザラフィアンツ、各氏に師事。

北海道にてヤマハ音楽教室発表会にゲスト出演。

現在、演奏活動に向けて講習などに参加し勉強中。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

大学4年間たくさんの人と出会い多くの経験をする事ができました。

特にピアノコースで学んだコンチェルトやピアノアンサンブルがとても勉強になりました。

卒業後は北海道に戻り大学で学んだことを生かし勉強を続けていきたいと思っています。

今回の演奏会では大学4年間のしめくくりとしてがんばりたいです。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

今まで弾いた作曲家はリストやラフマニノフが多かったので次はラヴェルやドビュッシーなどのフランスものにも挑戦していきたいです。

3. 音楽以外で特に関心のあること(もの)は？

海外旅行です。色々な国の文化や歴史に触れたり、その土地の建造物を見るのがとても好きです。今一番行きたい国はイタリアです。他にはギリシャ、フィンランドなどに行ってみたくて思っているの、いつかヨーロッパ、北欧など回れたらいいなと思っています。

4. 一番悩んでいることは？

引越しの準備に追われていることです。

荷造りがとても苦手なのでなかなか終わらず足の踏み場もありません(笑)

色々思い出の物が出てくるとつい手が止まってしまう一行に作業がすすみません。

5. もし、余命あと1年と宣告されたら？

最後の思い出作りに家族と海外を回りたくて。

リムジンに乗ったりしてとても贅沢な旅行にして、すべての財産を使い尽くします。あとホテルなどにおいてあるピアノを勝手に弾いてみたいです(笑)

増田 浩子(ますだ・ひろこ：ソプラノ)

1982年生まれ。千葉県出身。吉祥女子中学・高等学校卒業。

高校では普通科音楽コースに在籍。平成16年度、国立音楽大学音楽学部声楽学科を卒業したのち、洗足学園音楽大学大学院音楽研究科にて声楽を専攻し、昨年度にて修了。在学中は大学院トライアルコンサート等に出演する。第6回フランス音楽コンクールA級入選、記念演奏会に出演。声楽を高校在学中に井上由紀、田島好一の各氏に師事。大学在学中から現在に至るまで秋山理恵氏に師事し、おもにフランス歌曲を学ぶ。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

この度は、フレッシュコンサートに聴きにいらして頂きまして本当にありがとうございます。また、この演奏会を主催してくださった中島先生には大変お世話になりました。今日に至るまで、声楽の秋山理恵先生には温かくご指導頂きまして心より御礼申し上げます。演奏者としての心構えについて学ばせていただき、先生のお言葉があったこそ、作品の真意を汲み取り、真摯に曲と向き合うことができました。今日この舞台に立つことができたのも、家族や友達、ひとえに周りの皆様のおかげです。1曲目の「ひそやかに」は大学の頃から演奏する機会が多く、とても思い出深い曲です。ドビュッシーは勉強をはじめたばかりですがその繊細な世界に惹かれます。演奏者としてまだまだこれからですが、今日は心あたたまる演奏ができれば幸いです。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

レイナルド・アーン 「クロリスに」

3. 音楽以外で特に関心のあること(もの)は？

人の考えていることに関心があります。特に、ひとつの専門にたけている人が何を
感じ、日々どう考えて行動しているのかが気になります。その色々な考えに何か共通
することが発見できると嬉しいです。あとは、お散歩とか料理とかF1とかです。

4. 一番悩んでいることは？

まさに今日、高校の親友が結婚式を挙げました。高校時代の友人たちは今、企画し
た作品が商品化したり、イギリス、フランスさらにはアフリカまで飛んで、自分の夢
に向かって頑張っています。それぞれ色々な道に進むなかで、私は歌を通してどのよ
うに自分の道を歩みたいかについてよく考えています。これからは、考えていること
をしっかりと伝えられる大人の女性になりたいです。

それと、UF0キャッチャーの大きいカピバラさんのぬいぐるみがどうしても取れませ
ん……。5. もし、余命あと1年と宣告されたら？

いまいち想像がつかなくてよくわからないのですが、宣告された時点からしばらく
はとても辛いと思います。少し落ち着いてから、その季節のいちばんすてきな風景を
探しに行き、その写真をハガキにします。今までお世話になった人に1通1通その人
の思い出と感謝の気持ちをつづります。そしてまだ勉強していない曲と向き合いつつ、
死に近づく自分を受け入れて暮らしたいです。命が尽きてからその手紙を送ってもら
います。

元田 絢子 / 西野 杏里 (ピアノ連弾)

元田絢子(もとだ・あやこ)ピアノ

4歳よりピアノを始め、国立音楽大学附属高等学校を経て、国立音楽大学器
楽科ピアノ専攻卒業。

2005年、全日本演奏家協会のオーディションの合格者による演奏会に出演。

2006年、モスクワ音楽院教授パーヴェルネルセシアン氏のレッスンを受講。

2007年、“Fresh Concert CMDJ2007に出演”

れまでに、種田靖子、佐藤恵美、坂本信子の各氏に師事。



西野杏梨(にし野・あんり)ピアノ

国立音楽大学 器楽科ピアノ専攻卒業

Janowiec International Music Renderingのマスターコースに日本人として
初めて参加し、第5回ヤノヴェック国際音楽祭に出演。

ヨアンナ・マクラキュピッチ、ピオートル・ヤノフスキ両氏の推薦により、
シューマンのピアノ四重奏作品47を共演。

2007年、“Fresh Concert CMDJ2007に出演”

ピアノを伊藤八栄子、佐藤ゆかり、若崎宏、草野明子、ヨアンナ・マクラキ
ュピッチの各氏に師事。室内楽をピオートル・ヤノフスキ、ヨアンナ・マクラキュピッチの両氏に
師事。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

昨年のフレッシュコンサートにも出演させて頂き、今回で2度目の出演となります。

再びこのような機会を与えて頂けることを、大変感謝致します。

皆様にとって心地良い時間となるように心を込めて演奏したいと思います。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

二人で様々な曲にチャレンジし、連弾のレパートリーを増やしていきたいです。

3. 音楽以外で特に関心のあること(もの)は？

愛犬、愛猫の日々の成長です。戯れているとあっという間に時間が過ぎてしまいます。

4. 一番悩んでいることは？

愛犬ライナスの体重増加です。個人的には少し太ってるくらいが可愛いと思いますが
・・・(元田)

5. もし、余命あと1年と宣告されたら？(元田、西野)

世界一周。世界のあらゆるもの実際に見て感じ、様々な文化や人々との交流を図りたいです。

兼子 知恵(かねこ・ちえ:ソプラノ)

国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院オペラコース卒業。

第28回読売中部新人演奏会に出演。

2007年国立音楽大学院オペラ公演「フィガロの結婚」にて
スザンナ役で出演。

田口興輔、出口正子、杉山和代に師事。現在、二期会研修所研修生。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

今回歌わせて頂く曲は、「口づけ」という華やかな熱い歌曲と、「Rigolletto」より、初めて恋に落ちたGildaが歌う乙女心の曲です。

自分にとって2曲とも、聴いているのは大好きですが、自分で歌うにはとても繊細で難しい曲です。しかし、このコンサートは、学生を終え初めてのコンサートであり、自分の演奏家としての一ページ目となるもので、どうしても自分の想いのあるものを歌いたく、この2曲を選曲しました。

自分の道の第一歩を、自分らしく歌いたいと思います。

こんなに充実した学生生活を送らせてくれた、恩師、両親、友達、全ての人に心から感謝して。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

G. Donizetti作曲、歌劇「ランメルモールのルチア」のルチア。

A. Thoma作曲、歌劇「ハムレット」の オフフェーリアの狂乱。

いつか、G. Verdi作曲の歌を歌いたいです。

3. 音楽以外で特に関心のあること(もの)は？

物を作ること。例えば工作、料理、陶芸、フラワーアレンジメントなど。

4. 一番悩んでいることは？

鼻炎と乾燥肌。

5. もし、余命あと1年と宣告されたら？

世界一周。世界のあらゆるもの実際に見て感じ、様々な文化や人々との交流を図りたいです。毎日を自分らしく生きる。“ありがとう”を、沢山言う。

くだらないことで怒らない。イライラしない。多くを求めない。

Venezia のゴンドラの上でカンツォーネを歌う（これは夢）。

素直になる。たくさん笑う。

川田 修一（かわた・しゅういち：トランペット）

1984年福島県須賀川市生まれ。福島県立安積高等学校を卒業後、国立音楽大学に入学。

06年、多摩フレッシュコンサート2006において管楽器部門奨励賞(第2位)受賞。

平成19年度国立音楽大学卒業演奏会に出演。

今年3月、弦管打楽器ソリストコースを首席で修了、

矢田部賞を受賞し卒業。

これまでに北村源三、熊谷仁士、山本英助、ヒロ野口の各師に師事。

現在、コンツェントゥス・ムジクス・東京トランペット奏者。

今年5月に開催される第24回ヤマハ新人演奏会に出演が決定している。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

私は大学一年生の時にソルフェージュを中島洋一先生に教えていただきました。

ある日、中島先生からステージセッティングのお仕事をいただくことになったのですが、その演奏会がなんと日本音楽舞踊会議の演奏会だったのです。それから何回かステージセッティングのお仕事で音舞会にはお世話になりました。

フレッシュコンサートのセッティングもしたことがあり、私もいつか音舞会のフレッシュコンサートに出たいと思っていたのです。

今回はセッティングではなく、演奏家として出演できるということで、とてもワクワクしています。一人前の演奏家としてはまだまだ経験も勉強も足りない私ですが、大学四年間で学んだこと、養ってきた感性を信じて今この時にしかできないフレッシュな演奏をステージでできれば良いなと思っています。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

ジョリベ、コンチェルティーノ、コンチェルト2番

3. 音楽以外で特に関心のあること(もの)は？

おいしい食べ物を食べる

5. もし、余命あと1年と宣告されたら？

世界一周グルメ旅行

齋藤 希絵（さいとう・きえ：ソプラノ）

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業
洗足学園音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。
これまでに声楽を、伴和香子、田島好一、秋山理恵の各氏に師事。
第6回フランス音楽コンクール入選。
第17回日本クラシック音楽コンクール入選。
第10回長江杯国際音楽コンクールにて奨励賞。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

この度は、このような貴重な機会を与えていただきまして、心から感謝いたします。昨年、私はこのコンサートを客席から拝見しておりました。その時の感動は今でも覚えております。今回、多くの音楽仲間と共に、このコンサートに出演させて頂けますことを、本当に嬉しく思います。そして今日の日を迎えることが出来たのも、これまで私を支え、温かく見守って下さった、先生方、家族、友人達のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。本日は、私を支えて下さる多くの方々への感謝を胸に、また会場に足を運んで下さった皆様に、少しでも楽しいひと時を過ごして頂けますよう、心を込めて精一杯演奏したいと思います。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

ドビュッシー、ラヴェルの作品。また日本歌曲や、邦人作曲家のオペラ、作品にも興味があります。

3. 音楽以外で特に関心のあること（もの）は？

ダンス。踊れるわけではないので、見るのが専門です（笑）。特にコンテンポラリーダンスには興味があり、表現者の意図したことや、メッセージを感じたり、ああ、こういうことか！ と発見があると衝撃を受け、嬉しくなります。

4. 一番悩んでいることは？

なかなか自立出来ないことでしょうか。けれども今は、焦らず、しかし甘えず、今まで音楽を続けさせてくれている両親と、どんな時も励まし、教え導いて下さる先生に感謝して、努力を続けることが大切だと思っています。

5. もし、余命あと1年と宣告されたら？

自分の好きな曲を、ジャンルも垣根も無く集めて、我儘なコンサートを開きたいです。家族をはじめ、先生方、友人達、たくさん大切な人達に聞きに来ていただけたら幸せです。自己満足になってしまうかもしれませんが、大好きな音楽の力を借りて、少しでも今までのご恩をお返し出来ればと思います。そして時々、その音楽とともに、私のことも思い出してもらえたら、と思うからです。

古川 詠子（ふるかわ・えいこ：ソプラノ）

神奈川県出身。東京芸術大学卒。辻宥子、朝倉蒼生、David Harperに師事。第47回全日本学生音楽コンクール東京大会高校生の部3位入賞。大学在学中、指揮小泉ひろし、辻宥子両氏指導のもと、女声アンサンブルを学ぶ。東京芸術大学同声会主催卒業演奏会出演。私立仙台白百合学園小学校音楽専科教諭を勤め、その間、「新しい歌を創る会-仙台支部」にて、池辺晋一郎作品を仙台初演。その後、作家林望氏作詞による日本歌曲の新曲発表やイギリス民謡の重唱演奏を各地で行うなど、ソロ、アンサンブル活動を始める。ザルツブルク・モーツァルテウム・サマーアカデミーにてLillian Sukisに師事。02年よりスウェーデン・マルメ高等音楽大学に留学。Britta Johansson、Conny Antonovに師事。02年より現在まで同大学バロックヴァイオリン Peter Spisskyのもとでバロックプロジェクトに出演しソプラノソリスト、アンサンブルとして「The Judgement of Paris」「Rinaldo」「Xerxes」などのオペラや、バロックハイライト演奏会出演のほか、演出助手、助演もつとめる。Nils-Petter Ankarblom作曲「FireFlies」新曲発表ソリストでスウェーデン・ヘルシンボリ交響楽団と共演。エストニア・ヴィリヤンディ古楽フェスティバル出演。06年よりデンマーク王立音楽院に在籍。Hanna Hjort, Ulrich Størk, Kirsten Buhl Müllerに師事。スウェーデンとデンマークを結ぶオーレスンド室内オーケストラではソリストをつとめ、最近ではハイドン「ミサブレヴィス」に続き、モーツァルト「モテット」のソロで好評を得る。ソプラノ、オーボエ、ピアノ/オルガンのアンサンブルtrio kawaでスウェーデン中南部ツアーコンサートを行う。スウェーデン南部とデンマーク・コペンハーゲンを拠点にソロ、アンサンブル活動をする。デンマーク王立国営放送交響楽団合唱団準メンバー。



1. 今回のコンサート出演に向けてのメッセージ

2008年新人演奏会出演の機会をいただきありがとうございます。演奏会で歌うことは、いつでもどこでもとても緊張します。それでも歌いたいのは、ステージでは学ぶことが多く、その都度、音楽への新しい発見や、思いもよらない奇跡のような感動があり、自分の不思議な居場所を感じるからだと思います。この演奏会に向けて改めて気を引き締めて勉強することができ、新しく目標もできました。このような貴重な機会でもう一度歌うことができ、とてもうれしいです。

今回、北欧歌曲を5曲選びました。スウェーデンの全人口は東京都の人口と同じという位、人の少ない国のスウェーデン語、そして、そのお隣のデンマーク語。稀少言語で耳慣れないですが、私の母国日本で、今自分の接している言葉と文化、自然を背景にした歌を歌うのは、緊張するとともに、わくわくします。

2. 他に挑戦してみたい、作曲家、作品

モーツァルト、コロラテューラのコンサートアリア。北欧作曲家、デンマークのP. Heise、スウェーデンのAlfven、ノルウェーのGriegなど。日本歌曲は團伊玖磨作品。また、現代歌曲や現代室内楽曲にも挑戦したい。

3. 音楽以外で特に関心のあること（もの）は？

料理。方言。小さ子供から中学生くらいまでの言葉や反応の発達、環境の影響。民族や言語背景でおきる思考回路について。

4. 一番悩んでいることは？

音楽、勉強、育児、語学、家事をどうやったらうまくバランスよくこなし、体力を保ちつつ、将来仕事も気持ちよくできるかどうか。実生活と演奏会で歌うときの気持ちの切り替えに悩む。私が家で歌うと子供が反応してしまい、思わずかわいくて練習に集中できないので暗譜が心配。昔から正しく素早い判断と上手な自己主張ができないのが改善できない。

5. もし、余命あと1年と宣告されたら？

私の身近に死を意識する病気を克服した人がいるのと、自分が最近出産をして生や死を身近に感じ、特に死に対しては恐ろしくて軽々しく考えられないので、現実は無責任なことはいえないと思う。でも、空想として、もし何の苦勞も迷惑もかけず、自分の最後が一つの点の様にやってくることもありえてその日がわかっていたら、できる限り楽しいことをして、できる限り人に会い、できる限り人を助け、おいしいご飯を食べ、お酒をのみ、恋をし、泣くだけ泣いて、笑うだけ笑い、できる限りフル稼働し、できる限り人に迷惑をかけず、押し付けず、気持ちよく、やさしく、いい塩梅で消えたい。

*+ *

特集2 過去のFresh Concertの出演者が今の自分を語る

前述したように、日本音楽舞踊会議主催の“Fresh Concert”も今年で第6回目を迎えます。このような趣旨のコンサートとしては、まだ、それほど長い歴史を積み重ねて来たとは云えないかもしれません。しかし、過去5回のこのコンサートに出演した人の数は、すでに50人を超えています。そろそろ過去の出演者が、今、どのような音楽生活を送っているか、追跡調査をしてみてもよい程度の歴史を積み重ねてきたとも云えるでしょう。

本当のところ、社会に出て生活と葛藤しながら自分の音楽活動を継続して行くことは並大抵のことではありません。そのためには、強い意志と努力、そして忍耐が必要です。しかし、過去の出演者の殆どは、今でも頑張っており、その困難な道を歩み続けているようです。

今回は、過去にフレッシュコンサートに出演した人達の中から三人の方に代表してもらい、今の自分を語ってもらうことにしました。専門はそれぞれ、ピアノ、オンド・マルトノ、声楽と異なり、また人生経験の上でも差があります。大矢絢子さんは大学の学部を卒業した時コンサートに参加され、その後大学院に進まれたので、今年から社会人として生活を始められます。久保さんは大学を卒業してから数年を経ており、田辺さんは、すでに家庭を持ちながら音楽活動を続けておられます。専門のみならず、生活経験の上でも、三者三様でしょうが、強い意志と努力を持って、自分の音楽活動を続けている点については共通していると思われる。

文章も三者三様で、それぞれの人の個性が出ているように思います。なお、久保さんが、「最近ある漫画の影響で、クラシック音楽を身近に…」と書いているのは、おそらく『のだめカンタービレ』のことだと思います。蛇足かもしれませんが、文章を理解するためのヒントとして、書き加えておきました。また、略歴については、過去か

ら現在に至るそれぞれの人の活動が見えるように少し詳しく書いて欲しいとの注文をつけましたので、長目に記述されておりますが、趣旨を理解し、ご了承ください。

(中島 洋一)

大矢 絢子 (ピアノ) (第4回フレッシュコンサート出演)



私は、2年前にフレッシュコンサートに出演させていただきましたが、そのときのことがついこの間のことのように思い出されます。大学の4年間の勉強の集大成として、大変素晴らしい演奏の機会を与えていただけて、幸せでした。それからこの3月までの2年間、私は桐朋学園大学院大学と研究科に在籍しました。富山では、初めての一人暮らしと音楽生活を両立させなければならず、苦労もありましたが、富山の壮大な自然やおいしい食べ物に囲まれて、音楽にどっぷり浸かった生活を送ることができ、とても充実していました。2年間のうちに1時間のリサイタルを3回させていただけて、室内楽の勉強もたくさんすることができ、またシューベルトのピアノソナタについて思う存分に研究することができて、人間的にも音楽的にも少しずつでも成長できたのではないかと実感しております。

私は、演奏するときにはいつも、まずその作曲家が意図するものは何か、と考えます。そして楽譜から、その作曲家の育った言語、環境など、背景から求めている音を探って、音楽を創ります。また逆に音楽から、書かれた作曲家の時代や背景に思いを巡らせることもあります。中学、高校の時にアメリカとドイツに行く機会があり、アメリカでは「演奏する者にとっても、演奏を聴いて下さる側にとっても、音楽がどんなに感動的なものなのか」ということを感じ、またドイツでは「音楽が作曲家の民族性にとっても関わりがあり、またその民族性はその国民にとってとても大切なものであり、誇りであること」を学びました。それ以来、作曲家にとって音楽はその民族性に由来しており、中途半端な理解では演奏できない、と強く思うようになりました。新しい曲に触れるときのわくわくした気持ちは今でも変わりませんが、それに加えて、謙虚な気持ちをもって、作曲家の意図していることを、その民族性を大切にしながら深く追求していきたいと思います。演奏する音楽を通して、その世界観を聴いて下さる方々に伝えることができるよう、今後も努力していきたいと思います。

今春、大学院と研究科を修了し、学生の身分から社会人となり、有難いことに、これからも桐朋学園大学の嘱託演奏員としてピアノと関わっていくこととなりますが、これまでに育んだ気持ちを大切に、また社会人として、社会を構成している一人ということを実感して、生活していきたいと思います。そして、日本音楽舞踊会議の青年会員の一人としても、これからも自身の音楽や演奏と向き合い、ソロやアンサンブルの研鑽を重ねていこうと思います。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

大矢 絢子 (おおや・あやこ : ピアノ)

横浜市出身。日本女子大学附属中学校、高等学校を経て、2006年桐朋学園大学卒業。

2008年3月桐朋学園大学院大学修士課程修了、桐朋学園大学研究科修了。

4月より桐朋学園大学嘱託演奏員。

1998年ジーナ・バックアウワー国際ピアノコンクールエキシビジョンコンサート出演。

1999年第15回かながわ音楽コンクール中学生の部最優秀賞、横浜市長賞受賞。

入賞者記念演奏会出演。2000年第7回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールファイナリスト。

2002年蓼科高原音楽祭参加。2004年ウィーンにてベーゼンドルファーザールでのコンサートに出演。「モーツァルト協奏曲の夕べ」で日本ニューフィルハーモニー管弦楽団と協演。

2005 年第 7 回日本演奏家コンクール大学生部門奨励賞受賞。

2006 年日本音楽舞踊会議主催「Fresh Concert CDMJ2006」出演、第 77 回横浜新人演奏会出演。2008 年日本音楽舞踊会議「若い翼による CDMJ コンサート」出演。

2006 年より日本音楽舞踊会議青年会員。

これまでにピアノを大坪悠子、日比谷友妃子、佐藤 俊、船津聡子、三上桂子、野島 稔、深澤亮子の各氏に師事。室内楽を中井恒仁、藤井一興、藤原浜雄、岩崎 洸、岩崎 淑の各氏に、チェンバロを有田千代子氏に、ソルフェージュを故竹島悠紀子氏に師事。

久保 智美（オンド・マルトノ）（第 3 回フレッシュコンサート出演）



私がフレッシュコンサートの舞台に立たせて頂けたのは2005年春。あれから早いもので3年という月日が経ってしまった。この3年間で、果たして何が変わったろう？

恥ずかしながらこれと言って劇的な変化は見当たらない。ただ一つ言えるとすれば、世の中における自分の身の置き場所を確保しつつあることかもしれない。”確保しつつある”と言っても、世間から見れば、まだまだ音楽家として認められるどころか、相手にもされて

いないだろう。自らうずうしくも勝手に席を確保しているにすぎない。つまり、人から笑われようが音楽家であるという自分を信じ、貫き通すことにしたのだ。勘違いな人と思われたらそれまで。そのくらいの自信と信念を持たなくては、音楽家として生きていけないだろう。

私が演奏している”オンド・マルトノ”というフランス生まれの電子楽器は、”知られざる”と表されてしまうほど、まだまだ珍しい楽器と言われてしまう。どうしたらこの楽器を知ってもらえるだろうか？最近ある漫画の影響で、クラシック音楽を身近に感じてくれる人々が増えた様に思える。中にはただの食わず嫌いの人もいたはずだ。つまり、私達の提示次第で良くも悪くも何らかの影響が出るのだ。音楽家は常にこの事を意識し、作品に取り組むことを忘れてはならないと思う。私は今まで”現在”しか見ていなかった。少し先を見たとしても、一年先止まり。しかしこの楽器の奏者として、10年、20年、それ以上を見据え活動し、それだけの責任を持たなくてはならないと改めて考える。目標は色々あるが、何時になっても変わらない目標は、オンド・マルトノの為に書かれた作品を紹介する。そしてレパートリー（新曲）の拡張である。もちろん、今を生きる人々と未来を生きる人々にオンド・マルトノを知ってもらう為である。

「人生はあなたが思うほど複雑で難しいものではない」と言われたことがある。きっとそうなのであろう。だから私はいつでも夢を持って、音楽家として歩み続けようと思う。

久保 智美（くぼ・ともみ：オンド・マルトノ）

国立音楽大学卒業後、渡仏。フランス国立ブローニュ・ピーヤンクール音楽院 オンド・マルトノ科を満場一致の第1位で卒業。その後、研究科課程にて研鑽を積む。在学中より、オリヴィエ・メシアン作曲「現存する神の三つの小典礼」をステファン・カルドン指揮、国立音楽院オーケストラと演奏、Quatuor d'ondes のメンバーとしてコンサートに出演、その他、新作初演、映画音楽、パリ・オルセー美術館にて行われたオランダの印象派画家「Jongkind」展・記念ソワレにて演奏するなど様々な活動を行う。帰国後、Weekend café concert（日本科学未来館）、2005年3月 日本音楽舞踊会議主催『Fresh Concert CMD2005』、2005年6月 日本音楽舞踊

会議主催研究セミナー『オンド・マルトノの音楽世界』、アンサンブル・ヴィーヴォ2006公演 <Composition2001-2005>にて、鈴木純明 作曲「ファレーズ ～サクソフーン・チューバ・オンドマルトノの為の～」を日本初演、軽井沢国際音楽祭、2006年9月 日本音楽舞踊会議主催コンサート《様々な音の風景》にて、中島 洋一作曲『オンド・マルトノとピアノのための“青い詩”』を演奏、サロンコンサート オン ステージ ～フランスの知られざる楽器たち～（習志野文化ホール）などに出演、2007年10月には 渋谷公園通りクラシックスにてオンド・マルトノ ソロ、デュオの為に書かれた作品のみを集めたコンサートを企画、ゲストに原田 節 氏を迎え演奏するほか、コンテンポラリーダンスとのコラボレーション、レクチャーコンサート、新作初演など日本にて活動を開始する。これまでオンド・マルトノを原田 節(ハラダ タカシ)、パスカル・ルッス・ラコルデル、各氏に師事。

ホームページ <http://tomomikubo.com>

田辺 いづみ(声楽：メゾ・ソプラノ) (第3回フレッシュコンサート出演)



私は2005年に国立音楽大学大学院オペラコースを修了しました。同年、埼玉オペラ協会、東京オペラプロデュース、二期会の入会オーディションを受けて入会、翌年には東京室内歌劇場に入会しました。たくさんのオペラ団体に所属しているのは、やはりオペラに出たいという気持ちが強く、できるだけ多くの機会を得たいと思っていますからです。

しかし残念ながら、オペラはあまり仕事にはなりません。膨大な数のチケットノルマを課される場合もありますし、大方の場合、出演料は稽古の間の生活を支えてくれるほどは支給されません。生活していくには別の手段が必要で、歌い手仲間はそれぞれ、合唱をやったり声楽を教えたりしています。音楽とは全く関係のない仕事をしていることもあります。これは日本で演奏活動をしていくうえでは、ある程度仕方のないことと思われまます(舞台に出るだけで生活していけるのは、ごく一部の人たちだけです)。

“それにもかかわらず”オペラに出たい、と思う人たちがたくさんいるから、オペラ公演は成り立ちます。もちろん私もその一人で、チャンスがあれば(もちろん生活に支障がなければですが)いろいろな役に挑戦して、どんどんレパートリーを広げていきたいと思っています。それほどまでして何故、とも思われるかもしれませんが、舞台にはまさに抗いがたい魔力があるのです。

現在、私の音楽生活は、前述のオペラ団体のオペラ公演に出ること、自主企画の公演をすること、音楽ステージのあるレストランで歌うこと、アマチュア合唱団のソリストをすること、プロ合唱団の一員として歌うこと等で成り立っています。自主公演というのは、リサイタルや小規模なオペラ公演やコンサートを、自分一人または仲間と一緒に企画運営して行うことです。大きなオペラ公演に出演するチャンスは限られていますが、自分で企画すれば、たとえシンプルな形でも、自分のやりたいオペラの中の歌いたい役を歌うことが可能になります。また、リサイタルを開くことは非常に大きな勉強になります。2006年、2007年に引き続き、今年も11月7日にリサイタルを予定していますが、回を重ねるごとに、自分が本当に歌いたいジャンルは何なのか、お客様が喜んでくださるのはどんな曲目なのかがわかってきます。

自分のライフワークを追求することと、お客様の求めるものを提供すること。このふたつの要素の間でうまくバランスをとることは、音楽活動を続けていくうえでとても大切だと思います。聴いて下さる方があってはじめて、自分の音楽の存在意義が生

まれます。音楽家は芸術家であると同時にサービス業（この言葉に本来卑しいニュアンスはありません。相手のために心身を尽くし、もてなして喜んでもらうこと）でもある、ということをお忘れずに、これからも力を尽くしたいと思います。

田辺いづみ（メゾ・ソプラノ）

国際基督教大学人文科学科（音楽学専攻）及び国立音楽大学声楽学科卒業、同大学大学院オペラコース修了（2005年）。国立音大在学中、学内オーディション合格者による「ソロ・室内楽定期演奏会」及び「卒業演奏会」に出演。大学院修了時に「新人演奏会」出演。

モーツァルト「フィガロの結婚」、「コズィ・ファン・トゥッテ」、ロッシニ「絹のはしご」、「結婚手形」、ヴェルディ「リゴレット」等のメゾ・ソプラノ役を経験し、2000年、スロヴェニアのマリポール国立歌劇場における「カルメン」公演にカルメン役で出演。2006年にも埼玉オペラ協会25周年記念本公演「カルメン」にてカルメン役を歌い高い評価を得た。2003年、文化庁／東京トロイカ合唱団・ロシア公演（サンクトペテルブルク）にて、ラフマニノフ「晩禱」のアルト・ソロを歌う。2006年10月、東京にて初リサイタル開催。同年11月、二期会「クリスタルコンサート」、12月にモロッコの王立モハメッド5世劇場にて、文化庁／日モロッコ国交樹立50周年記念・オペラ「虎月傳」に出演。2008年2月に二期会オペラ公演・ワーグナー「ワルキューレ」に出演。

宗教曲ではヘンデル「メサイア」、デュリュフレ「レクイエム」、メンデルスゾーン「ラウダ・シオン」、横井佑未子「楽園にて」（初演）等のアルト・ソロを務める。

2005年3月：日本音楽舞踊会議主催 “Fresh Concert CND2005” に出演。

同年12月：日本音楽舞踊会議主催：オペラコンサート【愛・憎しみ・血の惨劇】に、カルメン役で出演。

近藤恭子、トミコ&セルジョ・ソッシィ、石光佐千子、中川順子、フランカ・マッティウッチ、関定子、田口興輔の各氏に師事。二期会、東京室内歌劇場、埼玉オペラ協会、東京オペラ・プロデュース各会員。

ホームページ：<http://members3.jcom.home.ne.jp/izumioritanabe/>

+ + *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +*

過去開催の Fresh Concert 演奏者 & 演奏曲目
《第1回(2003年3月19日(水)):新宿角筈区民センターホール》

司会:西山淑子

岩槻 佳枝(ピアノ)

リスト 『バラード 第2番』

F.Liszt 2 me Ballade

吉松 亜衣(ソプラノ)

ピアノ 金益 研二

ベッリーニ オペラ『夢遊病の女』より “気もはればれと”

V.Bellini [La Sonnambula] ~ “Come per me sereno”

松浦 豊彦(バリトン)

ピアノ 真田 千絵

シューベルト F. Schubert

“さすらい人が月に寄せて” Der Wanderer an der Mond D.870

“羊飼いの嘆きの歌” Schäfers Klage lied D121

“星はなんと明るく” Die Sterne D.939

湯原 拓哉(チェロ)

ピアノ 澤田 友子

1. ポッパー 『40の練習曲』より第17番 八長調 作品 73-17

D.Popper "40 Studies" No.17 in C major op.73-17

2. チャイコフスキー 『夜想曲』 作品 19

P.Tchaikovsky "Nocturne" op.19

3. ボッケリーニ ソナタ 第6番 イ長調 第1.2楽章

L.Boccherini "Sonata for Cello and Piano" NO.6 in A major move.1,2.

植田 さや香(ピアノ)

スクリャービン A.N. Scriabin

1. 『3つのプレリュード』 作品 37-1、作品 51-2、作品 59-2

"3 Preludes" Op.37, No.1, Op.51, No.2, Op.59. No.2

2. ピアノ・ソナタ 第9番 『黒ミサ』 作品 68

Sonata No.9, "Black Mass" Op.68

岩間 俊恵(ピアノ)

メトネル N.Medtner

<忘れられた調べ>第1集 作品 38より 第1番 『追憶のソナタ』イ短調

from "Forgotten Tunes" Cycle Op.38 "Reminiscence Sonata" a minor

高波 亜由実(ソプラノ)

ピアノ 田子 篤子

1. ベッリーニ “熱き願い”

V.Bellini Il Fervido Desiderio

2. ベッリーニ “優しい妖精、マリンコニーアよ”

V.Bellini Malinconia, ninfa Gentile

3. ドニゼッティ オペラ「シャームニーのリンダ」より “この心の光”

G.Donizetti 「Linda di Chamounix」~ “O luce di quest'anima”

戸田 竜太郎(クラリネット) / 山口 有希子(ピアノ)

ブラームス J.Brahms

ピアノとクラリネットのためのソナタ 作品120-2

Sonata für Klavier und Klarinette Op.120 Nr.2

小道 一代(メゾ・ソプラノ)

ピアノ 岸 洋子

コープランド 『古いアメリカの歌』より

A.Copland “Old American Songs” ~

遠い昔 Long Time Ago

小さな馬 The Little Horses

ザイオンの壁 Zion's Walls

川のほとり At the River

《第2回(2004年4月6日(火)):めぐろパーシモンホール(小)》

司会:西山淑子

高橋 絵里(ピアノ)

ショパン ソナタ 口短調 作品58より、第1、第4楽章
F.Chopin Sonata in b-minor op.58 ~ 1mov. and 4 mov.

鈴木 文(ソプラノ)

ピアノ 松本 智恵
ベッリーニ オペラ『夢遊病の女』より “私にとって今日は何とすばらしい日”
V.Bellini [La Sonnambula] ~ “Come per me sereno oggi”

相澤 沙代(ピアノ)

プロコフィエフ ソナタ第7番 作品83
S.Prokofiev Sonata no.7 Op.83

金子 直美(ソプラノ)

ピアノ 青木いづみ
マスカーニ 『アヴェ・マリア』
P.Masukagni "Ave Maria"
ドヴォルザーク オペラ『ルサルカ』より “月に寄せる歌” 他
A.Dvorak [Rusalka] ~ “Piesen rusalky o Mesicku”

植田 さや香(ピアノ)

1. 浅香 満 バラード
M.Asaka Ballade
2. スクリャービン ソナタ第4番 作品30
A.N. Scriabin Sonata No.4 Op.30

神尾 弥(打楽器)

向井 耕平 「前奏曲とアレグロ」 ~ マリンバのための 作品19
K.Mukai Prelude and Allegro for marimba Op.19

北川 葉子(ピアノ)

ラフマニノフ コレルリの主題による変奏曲 Op.42
S.Rakhmaninov Variations on a theme of Corelli Op.42

矢数 典子(ソプラノ)

ピアノ 藤川 志保
モーツァルト オペラ『フィガロの結婚』より
「スザンナは来ないかしら」 ~ 「楽しい思い出はどこへ」
W.A.Mozart [La Nozze di Figaro] ~
“E Susanna non vien!” ~ “Dove sono i bei momenti”

ユリヤ・スメタンキナ “Yuliya Smetankina”(フルート)

アウラ・ヴァージニア・ポペスク “Aura Virginia Popesku”(ヴァイオリン) 植田 さや香(ピアノ)
ブラームス .ハンガリア舞曲 第1番、第5
~フルートとヴァイオリンの二重奏 (ピアノ付)
J.Brahms .Hungarian Dance No.1 and No.5
~ Arranged for Flute, Violin and Piano

《第3回(2005年3月30日(水)):めぐろパーシモンホール(小)》

司会:西山淑子

秋山 有子(ピアノ)

L.V.ベートーヴェン ピアノソナタ op.81-a “告別”

L.V.Beethoven Klavier Sonate op.81-a “Das Lebewohl”

谷坂 仁美(ピアノ)

S.ラフマニノフのプレリュード Op23 2、23 4、23 5、32 5

S.Rakhmaninov Prelude Op.23-2,23-4, 23-5, 32-5

高橋 絵理(ソプラノ) ピアノ伴奏 山下珠実

G ロッシーニ 「ウイリアム・テル」

~ 彼らはとうとう行ってしまった! - 暗い森、荒れ果てた悲しい野よ ~

G.Rossini 「Guglielmo Tell」

~ S'allontanano alfine! - Selva opaca,deserta brughiera ~

加藤 みちる(ピアノ)

S.ラフマニノフ コレルリの主題による変奏曲 op.42

S.Rakhmaninov Variations on a Teme of Corelli op.42

高原 史乃(ソプラノ) ピアノ伴奏 山下珠実

ロッシーニ 古風なアリエッタ

G.Rossini Arietta all antica

ヴェルディ 歌劇「海賊」より

~ まだ彼は帰ってこない!...私の頭から暗い考えを~

G.Verdi Opera 「Il Corsaro」

~ Egli non riede ancora!...Non so le tetre immagini ~

----- 休憩 -----

久保 智美(オンド・マルトノ)

ロラン クルーズ オンド・マルトノ ソロの為の “アルス...”(日本初演)

Roland Creuze “ALS...” pour Ondes Martenot solo

朴 成姚(ピアノ)

L.V.ベートーヴェン 15の変奏曲とフーガ(エロイカ変奏曲)

L.V.Beethoven 15Variationen mit Fuge, Es-Dur ,Op.35

折田 いづみ(メゾ・ソプラノ)) ピアノ伴奏 山下珠実

G ビゼー・歌劇「カルメン」より『セギディーリャ』

G. Bizet Carmen “Seguidilla”

C.サン＝サーンス 歌劇「サムソンとデリラ」より『愛の神よ、弱い私を助けて!』

C.Saint-Saens [Samson et Dalila] “Amour! Viens aider ma faiblesse!”

富田 紀子(ピアノ)

C.ドビュッシー: 前奏曲第2集より 11.交代する3度 12.花火

C.Debussy: [Preludes 2e live] 11.Les tierces alternees, 12.Feux

佐藤 大介(ピアノ)

R.シューマン 幻想曲八長調 作品17より第1楽章

R.Schumann Fantasie C-dur Op.17 ~ 1.Satz

《第4回》2006年3月28日(火):めぐろパーシモンホール(小)》

司会:西山淑子

小侯 優衣(ピアノ)

ラフマニノフ ソナタ 第2番 変口短調 作品36

S.V.Rakhmaninov Sonata No.2 Bb minor Op.36

佐野 友美(ソプラノ)

ピアノ伴奏 山下 珠実

ヴェルディ 歌劇「椿姫」より “あゝ、そはかの人か～花から花へ”

G.Verdi Opera 「La Traviata」 "Ah! fors'è lui ... Sempre libera"

内田 陽子(ソプラノ)

ピアノ伴奏 花井 梨江

モーツァルト 演奏会用アリア『わが感謝を受けたまえ、やさしい保護者よ!』

W.A.Mozart Konzert Aria "Nehmt minen Dank, ihr holden Gonner"

歌劇『魔笛』より “恐れるな、私のかわいい若者よ”

Opera 「Die Zauberflöte」 "O zittre nicht, meinrn lieber Sohn"

本間 太郎(ピアノ)

ヒナステラ ピアノソナタ 第1番

A.Ginastera Piano Sonata No.1

知念 祥子(ソプラノ)

ピアノ伴奏 山下珠実

プッチーニ 歌劇「蝶々夫人」より “ある晴れた日に”

G.Puccini Opera 「Madama Butterfly」 "Un bel di vedremo"

井出 舜太郎(チェロ)

ピアノ伴奏 鈴木慎崇

サン・サーンス チェロコンチェルト第1番 op.33 第三楽章

Saint Saens Cello Concert a-minor Op.33 3d. mov.

----- 休憩 -----

村上 貴子(ソプラノ)

ピアノ伴奏 山下 珠実

モーツァルト 歌劇『魔笛』より “地獄の復讐が私の心の中に”

W.A.Mozart Opera 「Die Zauberflöte」 "Der Hölle Rache Kocht in meinem Herzen"

プッチーニ 歌劇「つばめ」より “ドレッタの素敵な夢”

G.Puccini Opera 「La Rondine」 "Chi il bel sogno di Doretta"

下川 慶子(ソプラノ) ピアノ伴奏 山下珠実

ヴェルディ 歌劇『運命の力』より “神よ平和を与えたまえ”

G.Verdi Opera 「La forza del destino」 "Pace, pace mio dio"

歌劇『仮面舞踏会』より “私は死にます、でもその前に”

「Un ballo in maschera」 "Morro ma prima in grazia"

大矢 絢子(ピアノ)

ショパン 「幻想ポロネーズ」 変イ長調 op.61

F.Chopin Polonaise-fantasie As-dur op.61

小椋 由加里(ソプラノ)

ピアノ伴奏 花井 梨江

山田耕筰 「AIYANの歌」より “曼珠沙華”

ロッシーニ 歌劇「セビリヤの理髪師」より “今の歌声”

G.Rossini Opera [Barbiere Di Siviglia] ~ “Vna Voce poco fa”

相山 潤平(テノール) ピアノ伴奏 合田由佳

トスティ “セレナータ”

.F.P.Tosti "La serenata"

ヴェルディ 歌劇『仮面舞踏会』より “永久に君を失えば”

G.Verdi Opera 「Un ballo in maschera」 "Ma se m e forza perderti"

《第5回》2007年4月6日(金): すみだトリフォニーホール(小)

司会: 西山淑子

元田 絢子 / 西野 杏梨 (ピアノ連弾)

ドヴォルザーク スラブ舞曲 No.8作品46-8/No.10 作品72-10/No.15 作品72-15
Dvorak Slavic Dance No.8 op.46-8/No.10 op.72-10/No.15 op.72-15

武田 麻衣 (ソプラノ)

マスネ “君の青い目を開けなさい”
歌劇《マノン》から “さようなら、私たちの小さなテーブルよ”
Massenet “Ouvre tes yeux bleus” / 《Mannon》 ~ “Adieu, notre petite table”

ピアノ伴奏: 森田 真帆

湯川 亜也子 (メゾ・ソプラノ)

フォーレ 歌曲「ある日の詩」
G.Fauré “Poeme d'un jour (Rencontre / Toujours / Adieu)”

ピアノ伴奏: 森田真帆

恵藤 幸子 (ピアノ)

バッハ トッカータ ホ短調
J.S.Bach Toccata e-moll BWV914 No.2
ショパン 練習曲 作品15-5 変ト長調 「黒鍵」
Chopin Etude Op.15-5 Ges-Dur 「Black key」
プロコフィエフ ピアノソナタ 第2番 作品14第二楽章
Prokofiev Piano Sonata No.2 Op.14 (2nd mov.)

宮川 雅衣 (ソプラノ)

トスティ 安らぎを返させたまえ
Tosti “Ridonami la calma”
モーツァルト 歌劇《イドメネオ》より “もし私が父上を失い”
Mozart 《Idomeneo》 ~ “Se il padre per dei”

ピアノ伴奏: 森田真帆

花田 愛 (ソプラノ)

ドビュッシー グリーン/「放蕩息子」よりアザエル!なぜお前は去っていったの?
Debussy Green / L'enfant prodigue ~ “Azaël! Pourquoi m'as-tu quittée?”

ピアノ伴奏: 森田真帆

----- 休憩 -----

横山さやか (P) / 神原あゆみ (P) / 高橋英樹 (Per.) / 鈴木紋香 (Per.)

バルトーク 2台のピアノと打楽器のためのソナタ(第2,3楽章)
Bartok Sonata for two pianos and percussion

島田 祐子 (ソプラノ)

レスピーキ 《森の伝説》より “牧神たち” / “エグレ” / “黄昏”
Respighi “Deita silvanca” ~ “IFAUNI” / “EGLE” / “CREPUSCOLO”

ピアノ伴奏: 神原あゆみ

神田 麻衣 (ピアノ)

ショパン バラード 第4番 へ短調 作品52
Chopin Ballade No.4 f-minor Op.52

金澤 梨恵子 (ソプラノ)

グノー “おいで!芝生は緑だ!” / 歌劇『ファウスト』より “宝石の歌”
Gounod “Viens! Les gazons sont verts!” / 《Faust》 ~ “Air des bijoux”

ピアノ伴奏: 山下 知里

太田 智子 (ソプラノ)

ラフマニノフ “夢” 作品8-5 “彼女達は答えた” 作品21-4
Rakhmaninov “Dream” Op.8-5 / “They answered” Op.21-4
ドヴォルザーク 歌劇《ルサルカ》より “月に寄せる歌”
Dvorak 《Rusalka》 ~ “Piesen rusalky o Mesicku”

ピアノ伴奏: 山下 知里

*+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+ *+

《4月~5月の日本音楽舞踊会議関係のコンサート情報》

日本音楽舞踊会議本会および、会員のコンサート情報です。
詳しくは本会ホームページをご覧ください。

【4月】

5日(土) フレッシュコンサート CMDJ 2008 【すみだトリフォニー小ホール】

- 16日(水) 深沢亮子ピアノリサイタル Vol.2「ピアノとヴァイオリンによる Schubert の夕べ」
 恵藤久美子と 【カワイ表参道 コンサートサロンパウゼ 19:00 ~】
- 21日(月) プリマヴェーラコンサート 岡部由美子(会員)他
 横浜みなとみらいホール 小ホール 19:00 ~ 全自由席:3000円
- 26日(土) コンチェルトコンサート ~ 2つの鍵盤楽器によるアンサンブルの世界 ~
 出演:戸引小夜子他 ヤマハエレクトーンシティ渋谷 16:00 ~
 入場券:前売:2,000円、当日:2,500円

【5月】

- 16日(金) 院長 広瀬美紀子 CD 発売記念コンサート 八王子音楽院 10周年特別記念
 ソロピアノで奏でる ピアソラ集 19:00 ~ 武蔵野スイングホール(042-254-1313)
 入場料¥2,500)
- 22日(木) 深沢亮子 ピアノリサイタル 出演:深沢亮子/恵藤久美子(Vl.)/安田謙一郎(Vc.)
 紀尾井ホール 19:00 ~ 全自由席:5000円
- 24日(金) 並木桂子 ピアノデュオプリランテ ~ ロマン派に生きた作曲家たち ~
 東京オペラシティ リサイタルホール 19:00 ~ 3000円

+ + *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +* *+ +*

編集後記

今回は、昨年9月発行の第12号(喜歌コンサート劇特集号)につづく6ヶ月半振りの発行となりました。最近コンサート特集号が多くなりましたが、今年の9月には第13号を発行する予定です。読者の方々の投稿をお受けいたしますので、どうぞ、yoichi_n@wa2.so-net.ne.jp宛に、お送りください。なお、投稿は原則としてメール投稿(wordなどのファイルでの添付は可)のみといたします。理由は手書きや印刷物でお送りいただいた場合、再打ち込みの労力の手配が不可能だからです。もちろん、FD、CD-ROMなどのメディアに保存してお送りいただいた場合は、支障がない限り、お受けしたいと存じます。

もう、フレッシュコンサート開催まで3日と迫りましたが、出来るだけ多くの方々のご来場をお待ちしております。

編集責任者: 中島 洋一

メールマガジン版『音楽の世界』第12号

2008年4月2日 発行

発行: 日本音楽舞踊会議 / 月刊『音楽の世界』

The COMMITTEE of MUSIC and DANCE JAPAN

〒169-0074 新宿区北新宿 2-25-8 FAX 03-3369-7496

<http://www5c.biglobe.ne.jp/~onbukai/> E-mail: onbukai@mua.biglobe.ne.jp

編集責任者: 中島 洋一

〒190-0031 東京都立川市砂川町 5-36-3

電話&FAX 042-535-3294 携帯電話 090-7904-1726

E-mail: yoichi_n@wa2.so-net.ne.jp